

絶対評価項目の確認

項目	評価内容	評価基準	A社	B社	C社
基本方針	施設整備のコンセプト	発注仕様書に記載した4つの施設整備のコンセプトが設計に反映されていること。	○	○	○
全体配置計画	建築計画	発注仕様書に記載した建物が計画されていること。	○	○	○
	工場棟(管理棟合棟)、洗車場、スラグストックヤード(ストーカ+灰溶融方式又は流動床式ガス化溶融方式の場合)	・工場棟(管理棟合棟)、洗車場、スラグストックヤード(ストーカ+灰溶融方式又は流動床式ガス化溶融方式の場合)	○	○	○
	法定条件	建ぺい率(50%)、容積率(100%)、緑地率(30%以上)等が法定基準に適合していること。	○	○	○
	駐車場	発注仕様書に記載した駐車場が計画されていること。 ・乗用車(26)台、乗用車(身障者用)(2)台、大型バス(2)台、駐輪場(40)台(自転車及び原動機付自転車用)	○	○	○
基本的事項	処理方式	ストーカ式焼却方式、流動床式焼却方式、ストーカ+灰溶融方式又は流動床式ガス化溶融方式のいずれかで計画されていること。	○	○	○
	処理能力	発注仕様書に記載した処理能力(100t/24h×2炉)に適合すること。	○	○	○
	灰溶融炉の能力	灰溶融炉の能力については提案された稼働計画に無理がなく、稼働計画との整合がとれていること。	○	○	○
	排水の放流	プラント系排水については無放流、生活系排水・洗車排水については油水分離後下水道放流として計画されていること。	○	○	○
性能条件	計画ごみ質	発注仕様書に記載したごみ質で計画されていること。	○	○	○
	焼却条件	発注仕様書に記載した条件に適合すること。 ・炉出口温度:850℃以上、ガス滞留時間:2秒以上、集じん器入口温度:170℃以下、一酸化炭素濃度:30ppm以下	○	○	○
	公害防止条件	排ガス、排水、騒音、振動、悪臭、飛灰処理物について、発注仕様書に記載した条件に適合すること。	○	○	○
	白煙防止条件	発注仕様書に記載した白煙防止条件(気温:4℃、湿度:60%)に適合すること。	○	○	○
試運転・運転指導条件	余熱利用条件	発注仕様書に記載した場外余熱利用量(4GJ/h)が確保されていること。	○	○	○
	焼却灰の熱しゃく減量	ストーカ+灰溶融方式またはストーカ式焼却方式の場合は、発注仕様書に記載した条件に適合すること。	○	○	○
	スラグ品質	溶融を行う方式によっては、発注仕様書に記載した条件に適合すること。 JIS A 5032:2006 及び JIS A 5031:2006、ダイオキシン類含有量:250pg-TEQ/g以下	-	-	-
	試運転・運転指導条件	発注仕様書に記載した試運転期間(6カ月以上(うち負荷運転3カ月以上))が計画されていること。	○	○	○
性能保証	運転指導期間	発注仕様書に記載した運転指導期間(90日以上)が計画されていること。	○	○	○
	保証項目と保証期間	発注仕様書に記載した保証項目と保証期間に適合すること。 ・施工上の保証:3年間 ・受注者の故意または重大な過失により生じた施工上の瑕疵:10年間 ・設計上の瑕疵:本施設の稼働全期間 ・その他(アスファルト防水:10年など個別設定)	○	○	○
	火災防止対策	発注仕様書に記載した対策が計画されていること。 ・赤外線走査式火災検知装置(ごみピット) ・ごみピット放水装置(電動式放水銃)	○	○	○
	非常時の対策	火災発生時などに安全に避難できるよう、発注仕様書に記載した対策が講じられていること。 ・点検歩廊は、2方向避難経路を確保し、原則として行き止まりを設けない。 ・すべての部屋は原則として2か所以上の出入口を設ける。	○	○	○
安全対策	停電時の安全対策	発注仕様書に記載した対策が計画されていること。 ・直流及び交流無停電電源装置の容量:30分以上 ・非常用発電機の起動時間:40秒以内	○	○	○
	地震時の安全対策	発注仕様書に記載した対策が計画されていること。 ・感震計が250ガル以上を感じた時は、自動で緊急停止させるシステムを採用する。	○	○	○
	耐震基準	発注仕様書に記載した耐震基準に適合していること。 ・重要度係数、工場棟等は1.25、煙突は1.5とする。	○	○	○
	作業環境管理基準	作業場におけるダイオキシン類を発注仕様書に記載した濃度以下とすること。 ・ガス化炉、溶融炉、焼却炉、集じん器等の内部で行う灰出し及び設備の点検補修作業を除き、作業場の環境中のダイオキシン類濃度は2.5pg-TEQ/m ³ 以下とする。	○	○	○
工事範囲	工事範囲	発注仕様書に記載した工事範囲が網羅されていること。 ・機械設備工事 ・土木建築工事 ・建築設備工事 ・その他工事	○	○	○
	主要機器について下記の基準に適合していることを確認する。ただし、メーカー独自の提案であって同等の性能が発揮できると確認できる場合は基準に適合していなくても可とする。		-	-	-
	・方式	発注仕様書に方式が記載された機器については、指定された方式で計画されていること。	○	○	○
	・数量	発注仕様書に数量が記載された機器については、指定された数量で計画されていること。予備機の数量についても同様とする。	○	○	○
機械設備	・寸法	発注仕様書に寸法が記載された機器については、指定した寸法で計画されていること。	○	○	○
	・容量	設計上の必要能力に対し、十分な能力を有すること。発注仕様書に余裕率が記載された機器についてはそれに適合すること。	○	○	○
	土木建築	見学場所	○	○	○
	必要諸室	発注仕様書で指定した見学場所が見学できる計画となっていること。 ・プラントホーム、ごみピット、炉室、(灰溶融炉)、ごみクレーン操作室、中央制御室、タービン発電機室	○	○	○
土木建築	エレベータ	発注仕様書で指定した必要な部屋が必要な面積で計画されていること。 ・事務室(150)㎡、書庫(30)㎡、大会議室(150)㎡、小会議室(60)㎡、展示スペース(60)㎡など	○	○	○
		発注仕様書で指定した数量及び仕様のエレベータが計画されていること。 ・乗用(定員15名以上):1基 ・人荷用(2人程度):1基	○	○	○